



子供たちの作ったかかし

まほろば農園で かかしの品評会 ○国府小学校○

自分たちの稲がすずめに食べられないようにと、国府小学校の生徒が作ったかかしの品評会が、八月十七日、国府小学校まほろば農園で開かれました。

これは、子ども会（山本速生会長）の発案で行われたもので、地区ごとに子ども会会員の助けで作成しました。出来上がった八体はいずれも子供たちのアイデアを曲げるところが難しかった」と

手話で自己紹介をする参加者



「南国尾長鶏」では、現在約十人の会員が週一回集まって勉強会を開いており、手話を通じてろうあ者と交流を深めようと活動しています。井上会長は、「もっともつと多くの市民に障害者問題に関心を持ってもらいたい。興味のある方は私たちといっしょに活動しませんか」と話していました。

土佐市と南国市の 手話サークル交流会 活動の悩みを語り合う

手話のボランティアグループ、南国市の「南国尾長鶏・井上幸会長」と土佐市の「手話サークル土佐・松岡隆城会長」の交流会が、

七月二十八日、中央公民館で開かれました。

これは、問題点を話し合い、交流を深めようと、六月に「南国尾長鶏」が土佐市へ訪問した返礼に、今度は「手話サークル土佐」を南国市に招いたもので、会員約二十人が参加して行われました。

参加者の自己紹介の後、お互いのサークルのこと、悩みや問題点を話し合い、「健聴者が心を開いても、ろうあ者が心を開きにくい」としてはならない「障害を持つ人も近所の人と普段からつき合い、何か困ったことがあれば、まず近所の人に相談してみてはどうか」など、夜遅くまで熱心に意見を交換していました。

24チームが熱戦

子ども会ソフトボール、 ドッジボール大会

市子ども会の第二十八回男子ソフトボール大会と第十八回女子ドッジボール大会が、八月九日、香南中学校で開かれ、二十四チーム、約三百六十人の小学生が熱戦を繰り広げました。

これは、少年の健全育成の一環として、大会を通して健全な心身を養うとともに、相互の理解と親睦を図り子ども会の資質向上のために、市子ども会連合会、市教育委員会、青少年育成南国市民会議の主催で毎年開かれているものです。

まず、市子ども会連合会の門脇晃会長のおいさつや小笠原市長の励ましの言葉に続いて審判長から言いながらも、自分たちの作ったかかしに満足そうでした。どれも甲乙つけがたく、全部の地区にまほろば賞などいろいろな賞が贈られました。

の注意説明があり試合開始。

ソフトボールはグラウンド、ドッジボールは体育館で競技を行い、子供たちは暑さに負けず盛んな歓声をあげていました。

競技の結果は次のとおりです。

- ◎ソフトボール参加十五チーム
- ①久礼田連合②後免野田ファイターズ③後免野田ガッツ
- ◎ドッジボール（参加九チーム）
- ①国府連合②久礼田ジャジャ馬③久礼田ガキスターズ



ソフトボールなど熱戦を展開